

# SONAR LE クイックスタートガイド

TASCAM Professional Software SONAR LEは、弊社ではサポート対象外となっております。カスタマーサポートをお求めの場合は、SONAR X3シリーズへのアップグレードをご検討ください。

ご使用方法につきましては、SONAR LEのヘルプメニューをご参照いただきますようお願い致します。

## 目次

本書の表記.....	1
商標に関して.....	1
インストールするには.....	2
SONAR LEをダウンロードする.....	2
レジストレーション（登録）するには.....	3
録音するには.....	3
録音.....	5
ミックスダウン.....	6

## 本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- パソコンのディスプレイに表示される文字を《OK》のように《 》で括って表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

### ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

### メモ

補足説明、特殊なケースの説明などをします。

### 注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

## 商標に関して

- TASCAM is a trademark of TEAC CORPORATION, registered in the U.S. and other countries.
- Microsoft, Windows, Windows 7 and Windows 8 are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- Cakewalk is a registered trademark or trademark and SONAR LE is a trademark of Cakewalk, Inc.
- ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH. VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Other company names, product names and logos in this document are the trademarks or registered trademarks of their respective owners.

# SONAR LE



# SONAR LE クイックスタートガイド

## インストールするには

SONAR LEは、Cakewalkのホームページより、ダウンロードで入手して頂く必要があります。常に最新版をお使いいただくため、ダウンロードによる提供を行っています。

## SONAR LEをダウンロードする

1. 以下のURLにアクセスし言語を日本語に設定します。  
<http://www.cakewalk.com/redeem/?promo=SONARX3LE&kl=16>



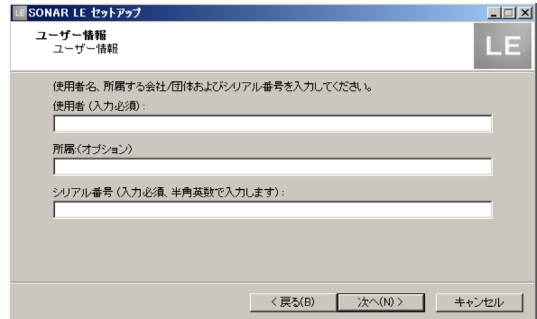
2. 名前メールアドレス、Redemption Codeを入力して《Redeem》をクリックします。Redemption Codeは、オーディオインターフェースに同梱されているライセンスカードに記載されています。



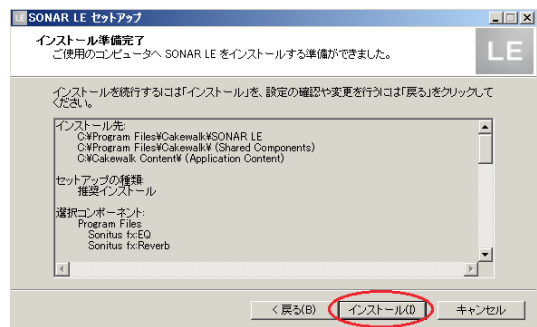
3. 《SONAR LE》をクリックしてインストーラーをダウンロードして保存します。同時にSONAR LEのシリアルナンバーが表示されます。また、登録したアドレスにもメールが配信されます。シリアルナンバーはメモを取るなどして、大切に保管して下さい。



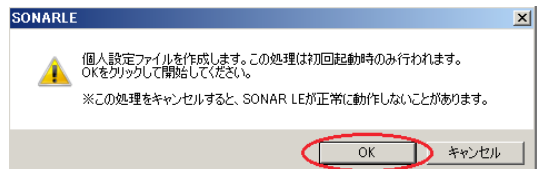
4. インストーラーをダブルクリックして起動します。
5. 言語選択で日本語に設定します。それぞれの項目を確認して次へをクリックして進んでください。
6. 使用者、所属、3で取得したシリアルナンバーを入力して次へをクリックします。



7. インストールボタンをクリックするとSONARのインストールが始まります。



8. インストールが完了すると、個人設定ファイルの作成画面が表示されます。OKをクリックすればインストールは完了です。



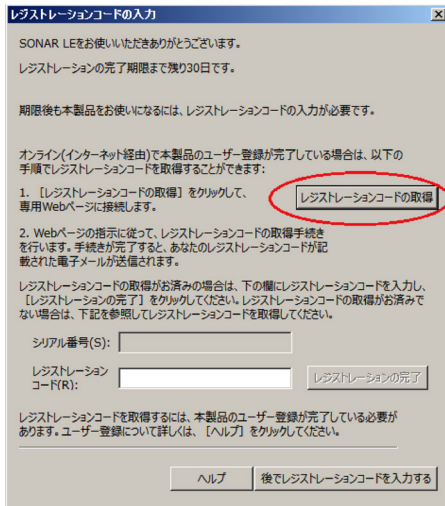
# SONAR LE クイックスタートガイド

## レジストレーション（登録）するには

SONAR LEは、正規ユーザーの方を識別するためにレジストレーション（登録）をお願いしています。レジストレーションを行わないと使用できないようになっています。

### SONAR LEをレジストレーションする

1. SONAR LEを起動すると、レジストレーションコードの入力を求められます。  
レジストレーションコードの取得をクリックします。



2. ユーザー登録サイトTPS-Rに接続されますので、画面の指示に従ってレジストレーションコードが取得して下さい。



これで登録が完了し、使用する準備が整いました。

## 録音するには

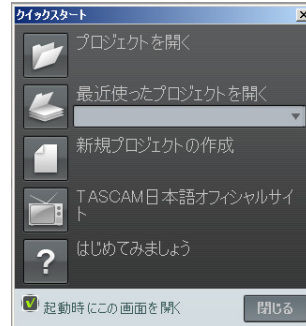
SONAR LEは、Windows 7、Windows 8とも、設定内容は同じです。以下の画面は、Windows 7でUS-200を使用した場合の例です。

### 準備（機器を使えるようにする）

1. SONAR LEを起動します。クイックスタートウィンドウが表示された場合は、《閉じる》をクリックしてください。

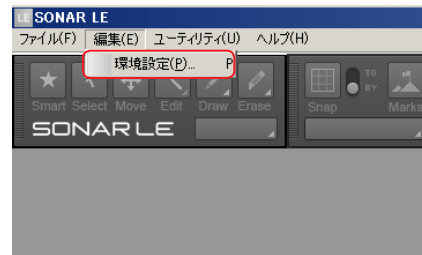
### メモ

《はじめてみましょう》を選択すると、WEBブラウザが起動し、オンラインチュートリアルが開きます。是非ご参照ください。



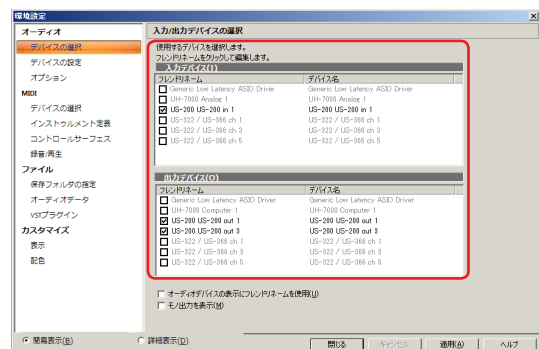
[クイックスタートウィンドウ]

2. 《編集》メニューから《環境設定...》を選択します。



3. 《環境設定》画面の左側の《デバイスの選択》をクリックし、右側の《入力/出力デバイスの選択》画面で《US-200》を選択します。《入力デバイス》《出力デバイス》それぞれの項目で、《US-200》を選択してください。

オーディオインターフェースによっては、複数選択できる場合があります。この場合は、該当するオーディオインターフェースの名称がついた項目をすべて選択してください。



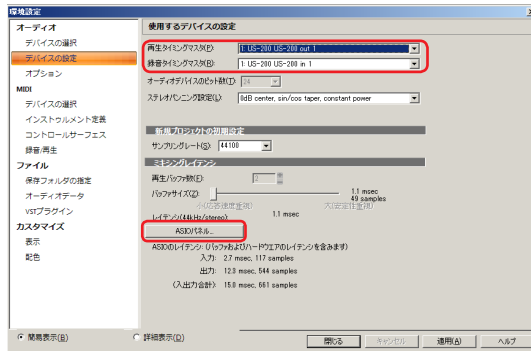
### メモ

初期状態では、《Generic Low Latency ASIO Driver》が選択されていることがあります。SONAR LEでは、ひとつのデバイスしか有効にできないため、《Generic Low Latency ASIO Driver》が選択されていると外部のオーディオインターフェースを選択することができません。

この場合は、《Generic Low Latency ASIO Driver》のチェックを外してから、オーディオインターフェースを選択してください。

# SONAR LE クイックスタートガイド

4. 選択できたら、《適用》をクリックしてください。自動的に必要な調整が行われます。
5. 《環境設定》画面の左側の《デバイスの設定》をクリックし、右側の《再生タイミングマスタ》及び《録音タイミングマスタ》画面で《US-200》が表示されていることを確認してください。オーディオインターフェースによっては複数選択できる場合があります。この場合は、該当するオーディオインターフェースの名称がついた項目をすべて選択してください。

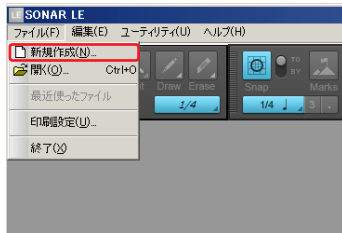


6. 機器の設定は完了です。  
《閉じる》をクリックして、画面を閉じてください。  
次は音声を録音するためのプロジェクトを作成します。

## メモ

《ASIO/パネル》をクリックすると、オーディオインターフェースのドライバ画面を開くことができます。

7. 《ファイル》メニューから《新規作成》を選択してください。



8. 《新規プロジェクトの作成》ウィンドウが表示されますので、《名前》の項目に任意のプロジェクト名称を入力してください。テンプレートの項目では《Normal》を選択し、《OK》をクリックしてください。

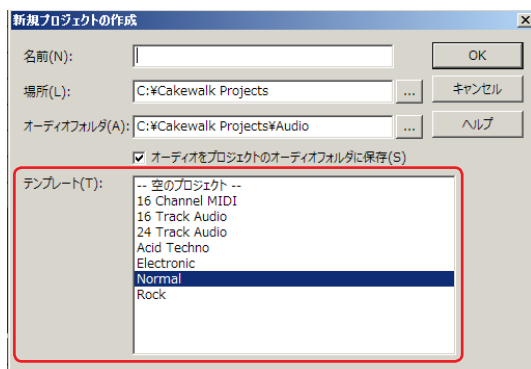
## メモ

名称は楽曲の名称などをつけると便利です。まだ制作開始前で適切な名称が無い場合は、**“test”**などの名称をつけておくとう良いでしょう。

## ヒント

《テンプレート》項目で、《16 Track Audio》を選択すると、最初から16のオーディオトラックが用意されたプロジェクトが作成されます。オーディオの録音を行う場合に便利です。

MIDIキーボードやプラグインシンセサイザーなどを用いて楽曲の制作を行う場合は、《16 Channel MIDI》を選択すると便利です。



9. プロジェクトが開きます。画面左側の《インスペクタ》セクションに、《Audio》と《Master》のふたつのトラックが表示されています。

《IN/OUT》の項目は、それぞれのトラックの入力元、出力先を表しています。《Master》トラックの出力先が、《US-200 out 1》になっていることを確認してください。異なっている場合は、《US-200 out 1》を選択してください。



これで、SONAR LEの音声はUS-200に出力されるようになりました。

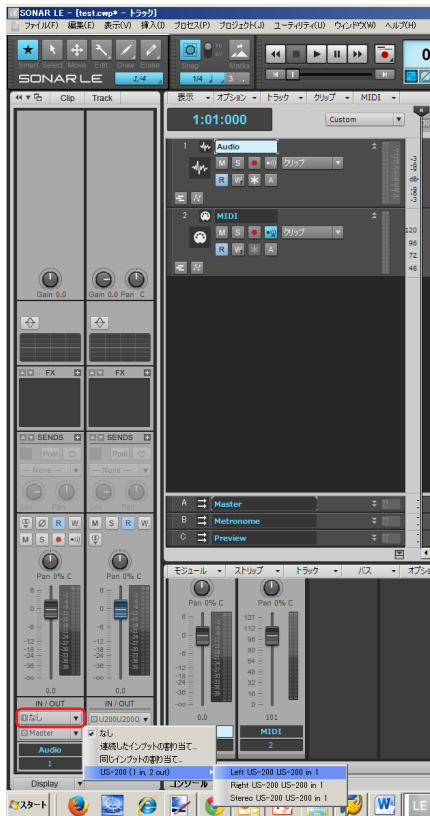
## ヒント

《US-200 out 1》は、ひとつめの出力端子(Output 1)を指しています。出力音声はステレオですが、2の表記は割愛されています。《US-200 out 3》を選択した場合は、SONAR LEの音声はUS-200の3及び4 (Output 3/4)に出力されます。

# SONAR LE クイックスタートガイド

## 録音

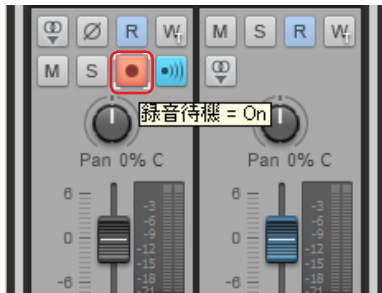
1. 録音するトラックを選択し、画面左の《インスペクタ》セクションで入力バス(入力元の信号経路)を選択します。US-200が接続している場合は、《Left US-200 US-200 in 1》を選択します。これで、US-200の入力端子1が、トラックに入力できるようになりました。



このとき、インプットモニターボタンをオンにしておくと、入力音を常時聞くことができます。



2. トラックの《録音待機》ボタンをクリックしてオン（赤く点灯）にします。



3. 画面上の《コントロールバー》セクションで《録音》ボタンをクリックして録音を開始します。



4. 演奏が終了したら《停止》ボタンをクリックし、《録音待機》ボタンをクリックしてオフ（消灯）にします。必要に応じて巻き戻しなどの操作を行います。

5. 上記の1.～4.を繰り返して音を重ねていきます。

### ヒント

ボーカルやアコースティックギターなどをマイク1本で録音する場合はモノトラック、ピアノをマイク2本でステレオ録音したり、キーボードなどをステレオライン入力で録音したりする場合はステレオトラックを使います。

モノラル/ステレオの切替は、《インスペクタ》セクションの《モノ/ステレオ》ボタンをクリックして切り替えることができます。



# SONAR LE クイックスタートガイド

## ミックスダウン

ミックスダウンは、複数トラックにまたがって録音、制作されているプロジェクトを、ステレオファイルにまとめる作業です。

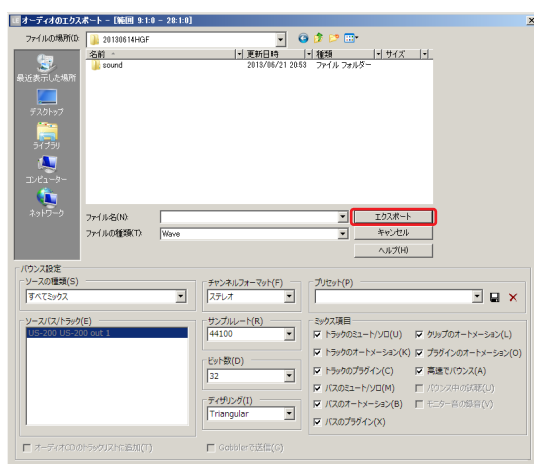
1. まずはミックスダウンする範囲を選択します。開始点にカーソルを移動し、《トランスポートバー》の《現在タイムを始点に設定》をクリックします。



2. 同様に終点にカーソルを移動し、《現在タイムを終点に設定》をクリックします。
3. 《ファイル》メニューから、《エクスポート》>《オーディオ》を選択します。

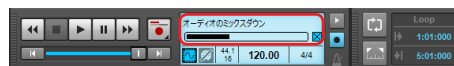


4. 《オーディオのエクスポート》ウインドウの各項目を設定し、《エクスポート》ボタンをクリックします。



この画面では、書き出すファイルのファイル名、保存場所、ファイルフォーマット、サンプリングレート（サンプリング周波数）、ビット深度（ビットレート）などを設定します。

5. 書き出し中は、以下のような画面が表示されます。



6. エクスポートが終了すると、自動的にプロジェクト画面に戻ります。